

令和8年度 学校経営の方針

船橋市立田喜野井小学校

1 基本方針

- (1) 子供一人一人の個性と能力を伸ばすと共に、人間的触れ合いを大切に、徳育・体育・知育の調和のとれた学校経営を目指す。
- (2) 学校・家庭・地域が一体となり、未来社会を創造するたくましい力と豊かな人間性を備えた子供の育成に努める。

2 学校教育目標

「豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成」

3 目指す児童像

〈協働ができる 思いやりのある子〉(徳)

- 誰とでも協働し、人の気持ちがわかる子
- 豊かな人間関係が築き上げられる子

〈貢献ができる たくましい子〉(体)

- 社会で粘り強く取り組み、貢献できる子
- 自ら進んで体力作りに励むたくましい子

〈主体的に考え よく学ぶ子〉(知)

- 自分の良さ・強み・可能性を見出し、粘り強く挑戦し続ける子
- 主体的に考え、自ら進んで表現できる子

4 目指す教師像

- 児童に向きあい、一人一人の良さや可能性を引き出し伸ばせる教師
- 児童とともに活動することを喜びとする教師
- 教育公務員としての自覚と誇りを持ち、信頼される教師
- 使命感と情熱を持って具体的実践を積み重ね、学び続ける教師

5 目指す学校像

(1) 心の通った温かい学校

- 児童が、学校を好きで、「希望の登校・満足の下校」と思える学校
- 教師が、分かる授業の実践を通して、一人一人を大切にする学校
- 大人である保護者、地域、教職員が、児童のために連携・協力する学校

(2) 活気に満ちた楽しい学校

- 元気で明るい挨拶と体力作りを推進する学校
- いじめや差別がなく、歌声・笑い声・話し合う声が響く学校

(3) 環境が整備された美しい学校

- 黙働により、清掃の行き届いた学校
- 花と緑がいっぱいの学校

(4) 安全で安心できる学校

- 子供の安全が確保された学校
- 家庭・地域及び関係機関等と連携のとれた学校

(5) 保護者や地域に愛され、開かれた学校

- 保護者や地域に情報発信のできる学校
- 保護者の方や地域の方が気軽に来られる学校

6 本年度の重点

(1) 目標

「思いやりの気持ちを育て、一人一人が輝く教育」

(2) 指導の重点

①確かな学力を育む

○主体的・対話的で深い学びの実現

- ・「分かった・できた・うまくいった」充実感を味わわせる指導の工夫
- ・一人一人の興味関心や特性等に応じた学びの構築
- ・子供同士の学び合い、地域の方など多様な他者との協働的な学びの充実
- ・生徒指導の機能を生かした授業(自己決定の場・自己存在感・共感的人間関係)の実践
- ・ICT機器を有効活用した授業実践の推進
- ・読書活動の充実

○基礎的・基本的な学力の確実な定着

- ・個別最適な学びや少人数指導の充実
- ・基本的な学習習慣(学習の準備、話の聞き方、ノート、家庭学習等)の確立

○授業のユニバーサルデザイン

- ・誰にでも分かりやすい授業の実施

○時代のニーズに応じた教育実践

- ・児童の発達段階に応じた環境教育や主権者教育の推進

②豊かな心を育む

○協働による温かい人間関係づくり

- ・一人一人の可能性や活躍の場を引き出し伸ばす集団づくり
- ・子供が主体的に活躍できる話し合い活動や体験活動の充実
- ・一人一人を大切にした教育相談の充実
- ・学校体制でのいじめ根絶の徹底
- ・共生社会の実現に向けた特別支援教育の充実

○自信や思いやりの心の育成

- ・ 自他の良さや強みを見付け協働できる子供の育成
- ・ 一人一人の子供を生かす特別活動の推進
- ・ 「特別の教科 道徳」を核とした全教育活動を通じての道徳教育の充実
- ・ 多様性と人権への理解を深め、いじめや差別を許さない心の醸成

○ルール・マナー指導の推進

- ・ 元氣な挨拶とＴＰＯに応じた言動の徹底

③健やかな心と体を育む

○基本的生活習慣の確立

- ・ 「早寝・早起き・朝ごはん」の奨励
- ・ 安全・食育・保健指導の充実
- ・ 自立した生活習慣の確立

○学校体育の充実と生涯体育の推進

- ・ 体力作りの習慣化と自己対応能力の向上
- ・ 生涯体育に親しむ態度の育成

○自己有用感の醸成

- ・ 黙働清掃の励行
- ・ 貢献が実感できる体験活動の充実

(3) 経営の重点

①よりよいチームづくり

○学び続ける教職員集団

- ・ 学級経営・授業力向上のため、本校の課題・子供の実態に即した研究の推進
- ・ 職能に応じた体系的な研修の充実

○教職員のウェルビーイングの向上

- ・ 働き甲斐のある職場づくり
- ・ 働き方改革を意識した勤務形態を実施し、ライフワークバランスの見直しを図るとともに、子供と向き合う時間の確保に努める。

○風通しの良い教職員集団

- ・ 全教職員の共通理解のもと、一人一人をチームで支え育てる。(緩やかなチーム担任制)
- ・ 同僚の良さや強みを見付け互いに高め合える教職員集団を目指す。
- ・ モラールアップ委員会の活性化と不祥事根絶の強化

○PDCAサイクルによる改善

- ・ 学校評価による教育活動の見直し
- ・ 人事評価制度を活用し、学校の活性化を図る。

○目指す教師像の実践

- ・ 子供の模範となる大人としての立ち振る舞いの徹底

②よりよい環境づくり

○防災・安全教育の充実

- ・各種防災マニュアルの見直しや体制整備
- ・防災教育・安全教育の充実

○学校安全管理体制の整備・充実

- ・定期的な安全点検の実施と環境整備
- ・食物アレルギーに対する共通理解の徹底

○生徒指導の組織的対応の強化

- ・教育相談等による児童理解の重視
- ・いじめ防止に向けた取組の強化
- ・困難を抱える児童への組織的指導体制の確立・充実
- ・校内教育支援センターの充実を図り、学びの保障に努める。

○登下校の安全確保

- ・スクールガード・保護者・地域との連携強化

○学校環境の整備・充実

- ・豊かな心を育む清掃の行き届いた花と緑いっぱいの学校環境づくり

③よりよい関係づくり

○教育活動の積極的な公開と情報発信

- ・学校運営協議会の活性化を図り、学校運営の方針を地域や家庭に広め、理解を得る。
- ・授業参観の実施と懇談会の充実
- ・教育相談日を活用した、教育相談の充実
- ・ＩＣＴ機器を活用した情報発信の充実

○家庭・地域との連携

- ・家庭・地域の教育力を生かした活動の充実
- ・学校・家庭・地域との組織的・継続的連携、協働体制の構築

○幼保・中学校・外部関係機関等との連携

- ・幼保中との交流と連携の充実
- ・外部関係機関等との連携の充実